

法人会連合総会

8.28～29 九州ルーテル学院大学

8月28日～29日にかけて九州ルーテル学院大学を会場に第6回うるてる法人会連合総会が開催されました。「ルーテル宣教の歴史遺産(“凄さ”)を振り返り、ミッションの原点・射程を確認する」というテーマのもと、学校法人、社会福祉法人、宗教法人の代表者並びに関係者が集まりました。

基調講演では、潮谷愛一氏(九州ルーテル学院大学教授)が「ルーテル宣教の原点と展開—潮谷総一郎の歩みから学ぶこと」と題して語り、父総一郎氏の信仰と社会福祉の働きの原点に耳を傾けました。

その後、前総会での決議と要望を受けて各法人及び幼稚園・保育園連合会(以下幼保連)、社団法人、諸委員会からの報告を受けました。それに続いて①「諸法人の活動と教勢の伸張(徳弘氏)、②「ルーテルの“凄さ”を見直す(尾田氏)、③「諸法人の人材育成と教会(市川氏)、④「グローバルな可能性と諸法人(浅野氏)の発題を聞き、分科会で議論して決議案として提案されました。



今総会にて、決議された主な内容は次の通りです。
「連合とは何か、周知の方策を策定する」「法人の枠を超えた協働の実施に取り組む」「信仰継承のためのプログラムを実施する」「法人会の諸資産を共有し、将来計画に役立てる」「研修の体系を整備する」「共同して若き働き人を育てるため、連携、協力する」「法人会連合として、グローバルミッションに対する方策を構築する」「教会推薦理事研修会を開催する」。以上のような決議事項の実現を目指し、各法人での働きを展開することになります。次回は、来年8月に大阪を会場として開催される予定です。

沖縄平和セミナー

アワーミッションレポート 西教区

西教区では、8月27日～30日にかけて、沖縄・ぎのわんセミナーハウスにて、沖縄平和セミナーを開催しました。独自の平和教育に取り組む西教区・教育部長の平岡博さんにお話をうかがいました。

一沖縄平和セミナーを始めた経緯を聞かせてください。

西教区は、被爆地広島や、喜望の家というディアコニアセンターを抱える地区として平和の問題に強い関心を持ち続けています。中高生に是非とも一緒にこの問題を考えて貰いたいという先輩達の強い希望からこのセミナーは始まりました。

一以前はどういうキャンプをしていましたか？

教区の行事として第1回はやはり沖縄で2001年に、第2回は広島で2005年に開かれました。主に中高生を主体としたキャンプですが、青年や壮年も加わったキャンプとなっています。

一今回の目的は何ですか？

気づくということ、気づかされるということです。沖縄は日本の縮図であると言われるほど沢山の問題を抱えています。その沖縄で「平和を実現する人々は幸いである」(マタイ5章)のみ言葉を生きている人に会ってほしい



と思いました。沖縄は日本の領土であること。62年前に悲惨な戦争がこの美しい島で行われたこと。今も基地を抱え、ここでは日常的に戦闘機、爆撃機が空を行き交っていること。平和を訴え行動している人たちが沢山おられること。イエス様の言われたことを実現するために活動している人たちの働きを伝えたいと思いました。実際に目で見たり耳で聞いたりしないと分からないことを、体験してもらおうのが目的です。

一プログラムについて教えてください。

沖縄戦の主戦場となった南部を回り、ひめゆり記念館、アブラチがま(鍾乳洞を利用した病院)、普天間基地、嘉手納基地などを見学しました。また、辺野古の美しい海への基地の移設に反対活動を続けている方々の話を聞き、ピースメーカーというボートに乗せて頂きました。ハンセン病患者さんのための施設に宿泊し、元患者さんの苦難に満ちたお話をうかがいました。佐喜真美術館を訪れ、沖縄戦を描いた大きな絵画に思わず息を飲みました。



一沖縄で学んだことは何ですか？

参加者の声をあげると何を学んだか見えてきます。「平和は守るものではなく創り出すこと」「日本は47都道府県ではなく46.5だ」「戦争の最大の犠牲者は民間人、つまり女性、子ども、老人であった」「この愚かな戦争を繰り返してはならない」。

一中高生キャンプについての展望について聞かせてください。

このように、子どもも大人も一緒に平和を考えるセミナーはとても貴重な体験です。教区では毎年は無理ですが2年に一度は開きたいものだとお話ししているところです。



■発行所■
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1
電話 03-3260-8631
日本福音ルーテル教会事務局広報室
■振替口座■
00190-7-71734
■ウェブサイト■
http://www.jelc.or.jp
■E-mail■
jelc@jelc.or.jp
■発行人■
佐藤 和宏 koho01@jelc.or.jp
■印刷人■
精文堂印刷株式会社(定価1部40円)

CONTENTS

- 1 | 法人会連合総会
アワーミッションレポート「沖縄平和セミナー」
『神様は刺身がお嫌い?』
- 2 | 牧師の声・信徒の声
東洋と西洋の対話⑦
- 3 | 信仰の学び、養いを生涯続ける⑦
神学生寮の思い出
クリスチャンのライフカレンダー
LAOS 講座
- 4 | るてるトピックス
チャリティーコンサートのお知らせ
グループワークキャンプ
IWC 参加者募集のお知らせ
会議のお知らせ、訃報
訂正、電話番号変更、他

福音版

- 1 | バイブルメッセージ
あなたの足跡には一輪の花が
- 2 | 大人を育てる絵本からのメッセージ
HeQi Art 聖書物語
たろこまま「いのちを語る」



食卓での出来事です。今日のメニューは「ピーマンの肉詰め」。子どもたちは目いっぱい涙をためて食べています。ピーマンを食べることができない。それまでに子どもとしての戦いがあり、ピーマンを克服したとき大人になったというのが私の思い出です。
食べ物の好き嫌いがどうやってできるのか? それぞれの家庭や味覚によって違うのでしょう。涙をためながら「お父さん、神様は好き嫌いのないの?」と訴える娘を愛おしく思いつつ、見つめていました。ガリラヤ湖畔に「メンザ・クリステイ」という場所があります。キリストの食卓です。復活したイエス様が魚を焼いて弟子たちを迎えられた場所です。あのときなぜ焼魚だったのか? 新鮮な魚は刺身が美味しいのに、もしかして神様は刺身がお嫌い?と考えてみました。
まさか! きつと弟子たちにとって一番必要なものを、最上の調理法で用意してくださったのに違いありません。親がピーマン料理を子どもたちに用意するのも同じことでしょう。
(柿のたね)

信仰の学び、養いを生涯続ける

第7回

信仰の学び、二つの経験

この8月、私は信仰問答に関わる2つの経験をしました。

1つは、市ヶ谷教会の教会学校キャンプでのことです。教師会から、小学4年以上、中高生までのために「教理問答」の手ほどきをして欲しいと依頼されたのです。結局当日は大学1年までの15人が机を囲み、聴講の大人が15人ほど、後ろの席に就いていました。私は、まず「教理問答は十戒、使徒信条、主の祈りで始まる」と告げ、「これは日曜毎の礼拝に反映している」と続けました。そこで全員に礼拝式文を渡して、これから3つが礼拝のどこで現れるか調べてもらいました。使徒信条と主の祈りはすぐ見つけましたが、十戒はなかなか見つかりません。式文はないのです。そこで一枚の絵を見せました。ルターゆかりのものの写真集から、コンピューターに取り入れてもらって、大きく写し出したのです。



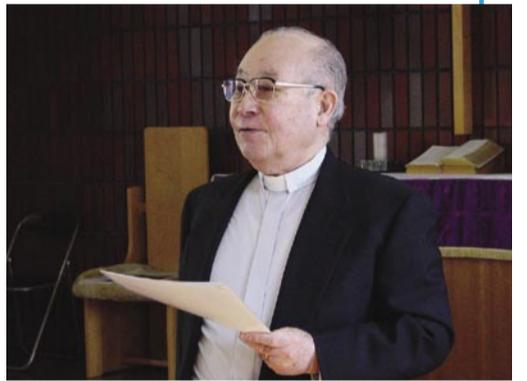
みんなに“ありがとう”!

～1人ではなかった～

みなさんご存知のように、私は離婚して娘と2人で生活してきました。小学生だった娘には寂しい思いをさせましたが、元気に育ってくれ、近々結婚することになりました。お世話になったみなさまにこの喜びをご報告させていただきます。

こんな幸せな日があるなんて20年前には考えられませんでした。離婚当時まだ信仰を持っていなかった私は、悲しみと不安の中で懸命に出口を探している状態でした。神様はそんな私を憐れんでくださったのでしょ。今は亡きKさんとの出会いを通じて教会へと導いてくださったのです。

その後、娘と2人で見知らぬ土地に引っ越しましたが、そのときも神様は必要なものをすべて用意してくださいました。信仰の浅い私が大きな恵みをいただいて、これまで生きてこられたことを常に感謝しております。そしていつも励まし支えてくださったみなさまにもお礼を申し上げます。



ルーテル学院大学・神学校名誉教授 徳善 義和

徳善 義和

神学生寮の思い出

東教区 蒲田教会 渡邊 純幸



写真は、按手式風景(1975年3月、日本福音ルーテル市ヶ谷教会にて)正面左側より、松隈貞雄氏、尾田光司氏、杉山晴吉氏、谷川卓三氏、藤井邦昭氏、松木傑氏、筆者

70年安保、学園紛争が沈静化に向かう1970年4月、日本ルーテル神学大学へ入学しました。1969年9月に鷺宮から三鷹に移転した真新しい建物は、まだ足場が残った状態で、入学と同時に出会った上級生は、雲の上の存在でした。どの上級生の部屋にも難しい神学書がずらりと並び、神学生はすごいなと感嘆したものでした。

入学しての日々は、すぐに打ち解け親しくなり、徹夜で話し、夜食を一緒に食べ、楽しさでいっぱいでした。日曜日になると、派遣教会へ履いていく靴下が無く、友人の部屋を回って調達したことも度々でした。洗濯

ともなると、いつも誰かがすでに洗濯機を使用しており、仕方なくその中に自分の洗濯物を放り込んでおくと、自分の洗濯物がいつの間にか物干し竿にぶら下げてあったことを思い出します。味わったことのない緩やかで暖かい時間が流れて行きました。

当時、「神学生はさしずめ『貧学生』と呼ばれ、ご多分にもれず、私もその一人で、時間給120円の寮食堂での夕食後の皿洗いのアルバイトを何年もしましたが、不思議なことに貧しいと思っただけは一度もありませんでした。それどころか、楽しくさえ思えました。

授業では、特にネー

■募金活動にご協力下さい■

従来の寮棟を『ルターホール』と名称を変え大改修します。この事業にご理解いただき、ぜひとも募金にご賛同、ご協力をお願いいたします。

募集期間 2007年4月～2009年3月
送金先 学校法人 ルーテル学院
取扱機関 郵便振替口座 00140-2171183
(所定の郵便振替用紙をご利用下さい)
銀行口座 三菱東京UFJ銀行三鷹支店
普通口座 4126089
名 義 学校法人 ルーテル学院

【お問い合わせ】
ルーテル学院大学・神学校後援会(0422-31-4611)
教会事務局(03-3260-8631)

人間はある程度の年齢に達すれば自然に適度な諦めというものが出てくるようだ。自身の歩んできた道程は変更不可能であり、大いなる者に委ねる他に手立てがないことに気付くからであろう。どのような人であっても個人の人生などというものは当の本人でさえ、まして家族、兄弟姉妹であっても本質的にはわからないのである。

思い出すことができる不正確で断片的な記憶は、人々にとってはコンピューターのように保存時刻まで正確に取り出せるものよりも遥かに価値があり、むしろそこに神の救いと導きが存在しているのである。そして、ルターの「たとえ明日この世界が終わると分かっているとしても私は今日一本の林檎の木を植えるだろう」という言葉の中に、神の慈しみと愛と希望を見出せるのである。

私たちは、不平等で不公平で混沌とした人間の歴史の中で、神を信じ生き抜いた人々の中にその証しを垣間見るのである。



「この世を生きる」を終えて

刈谷教会 島田善宏

※執筆者によるLAOS 講座は jelic TV で御覧いただけます。
URL <http://jelic.tv/>

TOPICS 9月

9月12～14日 全国教職研修会

晴海グランドホテルを会場に全国教職研修会が左記の日程で行われました。研修内容は講義(ルター教会論と教職論、ビジネス講習)、説教演習、牧会事例研究など。



9月16～17日 NCC 教育部全国教会教育フェスティバル



淀橋教会にて開催。150名が集った。テーマは「種をまこう！ー涙と共に種を蒔く人は、喜びの歌と共に刈りいれる」。夜のプログラムはJELCが担当し、小澤実紀さんのコンサートも開かれた。

9月17日 神戸ルーテル神学校創立50周年 感謝礼拝・祝賀会・記念講演会

神戸ルーテル聖書学院が今秋、創立50周年を迎え、記念礼拝、祝賀会、講演会が開かれた。感謝記念礼拝は、ノルウェールーテル伝道会0. ツルワン総主事を説教者に迎え行い、祝賀会では50年を振り返るスライドショー、神学生による劇などが行われた。記念講演会では、江藤直純先生が「21世紀-世界におけるルーテル神学校の使命」をテーマに語られた。

9月22～24日 第11回全国青年修養会

今年は「創造」をテーマに3日間の日程で開催された。場所は福岡市東地区の箱崎教会、聖ペテロ教会、恵泉幼稚園。詳しくは次号掲載。

9月24日 一日神学校

ルーテル学院大学にて2007年度一日神学校が開かれた。開会礼拝に始まり、ルーテル学院教員陣による13の講演、ラウンジコンサート、チャペルコンサートが行われた。また、小中学生を対象にした「こどもしんがっこう」も開かれた。詳しくは次号掲載。

renovate
【修復する】
グループワークキャンプ
in ウォータールー
7/24～8/7

▼自分一人の力では何も出来ないのは当たり前前で、だから他人とのコミュニケーションを大切にしよう。だから神様がいつもそばにいてくれるんだ、という当たり前のことを学んできました。(石川実可子)この一週間クルーの中で一番気遣ってくれたのはトムでした。たしかに



最初はとも無愛想で怖かったけど、理由があったんだね。それなのに優しくしてくれてありがとうと心から思いました。日本人に対する認識が変わったことも嬉しいけど、こんな風にして書いてくれたら、正直に書いてくれたら、嬉しく思いました。(上村知世)私たちは心を込めてその子と一緒に折り続けました。その子はとても頑張っていました。最終的にその深い悲しみは解決することはできな

かっただけで、それでもその子とはとても強くなったのだと思います。皆が祈っている間、その輪の中に神様はきつといてくださったんだなと思えました。(森奈生美)前までは、失敗を恐れて逃げる選択ばかり取っていた私だけ、それから、なにをするにしても、少しでも勇気がいる方を選ぼうと思うようになりました。クルーのメンバーと冗談が言えたり笑ったりしている、すごく嬉しいし、一瞬一瞬が充実しているなと思います。

そして日本に帰ってからも沢山の選択が待っていてそこで終わりにするのはなく、毎日の生活の中であたりまえのことだけ、私はそう素直に思えた自分が嬉しかった。今度は、自分のことではなく、他の誰かのことで喜べるようになりたいと思う。斎藤葉子/でも、お祈



りをしているとき、神さまは自分を許しなさいと言ってくれました。わたしはいつも許して愛してるんだから、自分自身を許し、好きになりなさいと。考えが180度かわり、涙があふれてきました。すごく心が軽くなって、うれしくて、うれしくて、神さまがわたしの心の中にいらつしやることを感じました。(浦野恵理)私たちが受け持った方の家はやはり少し古びた、とてもきれいなと言え

の人に迷惑をかけてしまったけれど、それに気づき、心から謝りたいと思った。あたりまえのことだけ、私はそう素直に思えた自分が嬉しかった。今度は、自分のことではなく、他の誰かのことで喜べるようになりたいと思う。斎藤葉子/でも、お祈



ないような家で、この家を修復するにあたって、ある1人の男の子の命を捧げないと全世界の人々も助からないというもの。映像がリアルで怖かったが、でも神様もこうやって死なれたと思うとやはり考えさせられるものだった。(天柴翔)毎日のデ



では少しショックなドラマを見た。そのドラマの内容は、全世界でウイリスが広まっていて、ある1人の男の子の命を捧げないと全世界の人々も助からないというもの。映像がリアルで怖かったが、でも神様もこうやって死なれたと思うとやはり考えさせられるものだった。(天柴翔)毎日のデ

て、一人ひとりをここに選んでこさせてくれたということを知って、なんか素直に喜ばしくなりました。このグループワークキャンプは私

に一生の宝物です!! (ラブリー・シドニー)

チャリティコンサート
カナダの著名なピアニスト、シゲフリート・テッパ氏によるチャリティコンサートを開催します。
■場所: ルーテル市ヶ谷センター
■日時: 10月16日
開場 午後6時30分
開演 午後7時
■入場料: 2,000円
■問合せ: 0422(31)4611 (後援会事務局)
03(3260)8632 (教会募金事務局)

第4回インド・ワークキャンプ (JELA-JELC 共同プログラム)
■期間: 2008年2月26日～3月7日
■企画: 日本福音ルーテル社団(JELA)・日本福音ルーテル教会(JELC 宣教室)
■募集人数: 10名前後(書類選考あり)
■参加費用: 150,000円(予定) ■対象年齢: 18歳以上
■締め切り: 2007年12月2日
■問合せ・申し込み: 教会事務局宣教室(担当: 乙守)
mail: mission04@jelc.or.jp/FAX: 03-3260-1948

会議のお知らせ
■常議員会
第22回総会期第5回常議員会が左記の通り開催されますので、議案のある方は、所属教区常議員会を経て、ご提出ください。
【日時】
11月7日(水)～9日(金)
【会場】
ルーテル市ヶ谷センター
2007年10月1日 以上
常議員会
会長 山之内正俊
書記 徳弘浩隆

訃報
■内海 引退牧師 9月8日(土)午前2時1分頃、召天されました(享年74)。
■依松 様 依貞引退牧師夫人・召天 9月10日(月)午前、召天されました(享年100)。
謹んで哀悼の意を表しお知らせいたします。
教会手帳訂正
■田島靖則先生 (雪ヶ谷教会) 先生の氏名の隣に記載されている住所、電話番号を削除してください。訂正し、お詫びいたします。
電話番号変更
■川口誠先生 (引退教師) 03-3477-5815 ※電話 FAX 共用

